

授業改善推進中期プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立田中小学校

学年等		項目	内容
令和2年度 第4学年	令和2年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○正しい日本語の使い方や、話し言葉・書き言葉の区別等に関する指導が不十分である。また、原稿用紙の書き方が身に付いていない。 ○漢字を日常的に使うことに課題がある。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく文章を書く力 ○既習漢字、新出漢字の活用力
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○作文指導やノート指導を通して、正しい言葉の使い方を指導していくと同時に、原稿用紙に使い方に慣れさせる。 ○漢字ドリルや練習プリントを用いて、繰り返し練習する。作文指導やノートチェックの際に、学習した漢字を指摘し、確認させる。
年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○11月実施の昭島市学力調査の結果は、市平均よりも下回った。特に、話す・聞く、読む領域が弱い。 ○作文の宿題を通して、原稿用紙の使い方を身に付けることができた。 ○必要なところをメモしながら聞く力を伸ばしていく必要がある。 ○習った漢字を使って日常的に文章を書く意識を高めていく必要がある。 	
令和3年度 第5学年	令和3年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○既習漢字の習得、文章表現力が不十分である。 ○登場人物の心情や筆者の考えなど、叙述を基にして、自分の考えをもつことが不十分である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○既習漢字、新出漢字の習得 ○文章表現力の向上 ○根拠に基づき、自分の考えを表現する力
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字ドリルや練習プリントを用いて、繰り返し練習させる。偏や傍の意味、音読みの規則について指導する。 ○毎週末の宿題としてテーマ作文に取り組みせ、出来事や自分の考えを文章に書き表す力を付けていく。 ○毎時間、個人の考えを記す時間を設けた上で、根拠となる叙述や考えを明確にさせる。
年度末	第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字ドリルや練習プリントを用いて、繰り返し練習させたことで、小テストの平均は90点を超えた。 ○要旨や登場人物の心情を読み取る力が付き、叙述を基にして自分の考えをもつことができるようになった。 ○週一回、作文の課題を課すことで、文章の分量が増えた。さらに、テーマに沿った内容を書くことで、書く力が伸びた。 ▲自分の考えを伝えるための語彙を増やしていく。 ▲既習漢字を文章の中で使って書く力を付けていく。 	
令和4年度 第6学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字の習得率に個人差が広がってきている。 ○物語文において、想像力を広げて読みを深める力が不十分である。 ○文章全体の構成や書き表し方に注意し、伝えたいことを明確に書く力が不十分である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○既習漢字を文章内で適切に使う力。 ○人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりして、物語を読む力。 ○目的や意図に応じて書くことを選び、伝えたいことを明確に書き表す力。
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字ドリルや練習プリントで繰り返し練習するとともに、作文を通して漢字の活用力を付ける。 ○コトバンクや話型を活用し、個々の考えや想像した内容を積極的に表現できるようにする。 ○作文の課題を出したり、総合的な学習の時間と関連させたりして、自分の考えを文章表現する活動を充実させる。
年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項		

授業改善推進中期プラン 算数〔小学校第4～6学年〕

昭島市立田中小学校

学年等		項目	内 容
令和2年度 第4学年	令和2年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能はほぼ身に付いている児童が多い中、九九が未習熟のため、わり算の筆算が身に付いていない児童がいる。 ○除数1桁のわり算は習熟度が高いが、除数2桁のわり算は、習熟が必要である。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○九九を活用して課題を解決する力 ○九九をもとに除数が2桁以上のわり算の計算をする力
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導で九九を確実に身に付けさせる。 ○年間を通して、わり算の筆算の復習をし、わり算の習熟度を高める。
	年度末	第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ○11月実施の昭島市学力調査の結果は、67.2ポイントで市平均よりも3.2ポイント上回った。しかし、量と測定領域が弱い。分度器やコンパスなどを正しく正確に使用することに課題がある。 ○繰り返し計算学習に取り組んできたことで、乗法除法の計算力が向上した。 ○時間が経つと計算方法を忘れてしまう児童が多いため、引き続き計算トレーニングを行う必要がある。
令和3年度 第5学年	令和3年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○四則計算の技能はほぼ身に付いているが、3桁以上の計算や、小数の計算になると正確性に欠ける。四則計算の中では、わり算の計算が苦手な児童がいる。 ○文章題や思考を伴う学習が苦手な傾向が見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○3桁以上や小数のかけ算・わり算の習得 ○思考力、応用力
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題や授業の中で繰り返し、3桁以上や小数のかけ算・わり算の練習問題に取り組ませる。 ○文章題では、図・数直線などを用いたり、既習事項を活用して考える練習を積み重ねる。
	年度末	習熟度別少人数指導における具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導、少人数指導で図や数直線の使い方などを繰り返し指導し、練習する機会を確保する。 ○年間を通して、計算練習に取り組む、習熟度を高める。
令和4年度 第6学年	令和4年10月	学習に関する児童の実態・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○整数と小数の記数法、小数のわり算かけ算、分数のたし算・ひき算は正確に計算できるようになった。 ○簡単な比例の関係や単位量当たりの大きさ、速さの問題など、2つの数量の関係を文章から捉えて立式し、問題解決する力が十分ではない
		教科で身に付けさせたい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○思考力・応用力 ○数直線や図表をつかって文章題の解決を行う力。 ○整数・分数・小数の四則計算を正確に行う力。
		具体的な授業改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ○宿題や授業の中で繰り返し、3桁以上や小数のかけ算・わり算の練習問題に取り組ませる。 ○文章題では、図・数直線などを用いたり、既習事項を活用したりして考える練習を積み重ねる。
	年度末	習熟度別少人数指導における具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○個別指導、少人数指導で図や数直線の使い方などを繰り返し指導し、練習する機会を確保する。 ○宿題や授業でのプリントで文章題に挑戦する機会を増やし、問題から正しく立式する力を付けていく。 ○年間を通して、計算練習に取り組む、習熟度を高める。
令和4年度 第6学年	年度末	小学校6年間のまとめと中学校への引継事項	